本県の職業能力開発に係る主な取組

1	求職者に対する能力開発1
(1)	公共職業能力開発施設内で行う能力開発1
(2)	民間機関を活用した公共職業能力開発4
2	在職者に対する能力開発7
(1)	公共職業能力開発施設内で行う企業在職者の技能向上7
(2)	民間事業主団体等の行う職業能力開発に対する支援9
3	技能の振興と職業観の醸成10
(1)	技能の向上10
(2)	ものづくり体験を通じた技能尊重気運促進と
	就労の意識醸成・機会拡大の推進13

■ 兵庫県職業能力開発計画による施策の推進

職業能力開発促進法において、都道府県は、国が策定する職業能力開発基本計画に基づき、都道府県職業能力開発計画を策定するよう努めることとされている。

本県では、法令の趣旨を踏まえ、職業能力の開発について講じようとする施策の基本となるべき事項等を定める計画を策定している。

現在、平成28年9月に策定した「第10次兵庫県職業能力開発計画」(計画期間: H28~R2)に基づき各般の職業能力開発施策に取り組んでいる。

〈第10次計画における職業能力開発施策の基本的方向〉

- 1 多様できめ細かな職業能力開発の推進による若者・女性・高齢者・障害者など 多様な人材の育成
- 2 非正規雇用労働者の正規雇用化対策の推進
- 3 次世代産業や地域産業の担い手育成など産業界や地域における人材ニーズへ の対応
- 4 技能者の技能継承への支援など技能振興の推進
- 5 公共職業能力開発施設における取組の充実

1 求職者に対する能力開発

(1) 公共職業能力開発施設内で行う能力開発

県では、職業能力開発促進法に基づき、県立4、国立県営1の公共職業能力開発施設を拠点として、多様な訓練ニーズに対応した職業能力開発を総合的に推進する。

	ものづくり大学校(姫路市)
一般校	但馬技術大学校(豊岡市)
	神戸高等技術専門学院(神戸市西区)
萨伊戈林	障害者高等技術専門学院(神戸市西区)
障害者校	兵庫障害者職業能力開発校(伊丹市)※国立県営

① 施設内訓練

【令和2年度予算 287,354 千円】

施設内訓練は、ものづくり技術等民間では実施が困難な分野や、きめ細かな対応を 必要とする障害者コースを実施する。

※令和2年12月末現在

 (12)														
∀	区 分	募集定員			J	応募者		入校者			修了者		就職率(%)	
区 分	刀	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	H30	R1
一般村	交 計	335	335	335	365	365	341	283	272	283	241	244	89.6	88.5
障害者	校計	125	125	120	155	157	150	105	107	106	93	92	84. 9	80.4
総	計	460	460	455	520	522	491	388	379	389	334	336	88.3	86. 3

施設名	421	目名	訓練	募	集定		J	む募者	Î	,	入校者	ŕ	修.	了者	就單	執率
	14	日 名	期間	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	R2	H30	R1	H30	R1
	住宅設備	コース	1年	15	15	15	17	20	19	14	17	16	13	15	92. 3%	86. 7%
	木造建築	ショース	1年	15	15	15	23	13	14	15	10	12	15	9	93. 3%	100.0%
₽.	機械加工	機械加工コース		15	15	15	7	12	14	7	12	13	6	10	83.3%	70.0%
のづ	機械製図 ス(CAD/C	】・工作コー AM)	1年	10	10	10	8	13	11	6	10	9	5	9	80.0%	77.8%
<	溶接コー	-ス	1年	15	15	15	12	9	7	12	6	7	12	6	83.3%	100.0%
り大	金属塗装	ミコース	1年	15	15	15	13	13	13	11	10	13	10	10	90.0%	70.0%
学	ものづくり) 複合コース	1年	10	10	10	12	10	6	10	10	6	8	3	100.0%	100.0%
校	CADコース	4月開講	6か月	20	20	20	20	32	20	20	20	18	20	20	85.0%	95.0%
		10月開講	6か月	20	20	20	30	29	27	20	20	20	18	19	88. 9%	73. 7%
		計		135	135	135	142	151	131	115	115	114	107	101	88. 8%	84. 2%
但	自動車工	学科	2年	20	20	20	23	25	13	16	18	12	9	12	100.0%	100.0%
馬技	建築工学科		2年	20	20	20	24	17	13	20	15	13	8	19	87. 5%	100.0%
術	機械工学科		2年	20	20	20	12	11	18	11	10	14	9	8	88. 9%	100.0%
大学校	総合ビジネス学科		1年	20	20	20	25	23	14	20	17	11	18	17	83. 3%	82.4%
校	計			80	80	80	84	76	58	67	60	50	44	56	88. 6%	94.6%
	CAD/CAI	M加工コース	1年	15	15	15	6	4	19	5	4	15	5	4	100.0%	75.0%
神戸	電気制御	リ コース	1年	15	15	15	13	9	18	13	7	15	12	6	100.0%	50.0%
高等	高 印刷総合技術コー		1年	15	15	15	13	13	16	12	13	14	12	12	66. 7%	83. 3%
+ 技 術	インテリフ コース	アリフォーム	1年	15	15	15	23	18	17	14	15	15	14	13	100.0%	92. 3%
専	福祉 調理	4月開講	6か月	20	20	20	24	26	23	19	18	20	12	17	83. 3%	100.0%
門学	調理 コース	10月開講	6か月	20	20	20	27	38	28	19	20	20	16	19	87. 5%	94. 7%
字 院	総合ビジ	ネスコース	1年	20	20	20	33	30	31	19	20	20	19	16	100.0%	93.8%
		計		120	120	120	139	138	152	101	97	119	90	87	91. 1%	89. 7%
				335	335	365	365	341	283	272	283	241	244	89.6%	88.5%	

【実施状況(障害者校)】※令和2年12月末現在

松乳及	±N		訓練	募	集定	具	J	お 募者	-	;	入校者	i	修丁	7者	就耶	戦率
施設名	科	目名	期間	H30	R1	R2	Н30	R1	R2	H30	R1	R2	Н30	R1	Н30	R1
専障	ものづく	り科	1年	10	10	10	11	14	8	6	9	4	4	8	100.0%	50.0%
門害 学者	ビジネス	事務科	1年	10	10	10	15	14	12	10	9	9	8	9	75.0%	77. 8%
院髙	情報サー	・ビス科	1年	10	10	10	6	11	10	5	7	7	4	6	100.0%	66. 7%
等 技	総合実務	科	1年	15	15	15	10	10	21	7	8	15	5	6	100.0%	100.0%
術	計			45	45	45	42	49	51	28	33	35	21	29	90.5%	72. 4%
兵庫	OA事務	科	1年	20	20	20	28	32	29	19	20	20	17	17	76.5%	88. 2%
障	グラフィッ (R1限り		1年	20	20	_	29	27	1	20	18	-	17	13	76. 5%	61. 5%
害者	キャリア (R2新設		6か月	ı	1	15	ı	1	11	ı	ı	11	_	_	-	_
職業	インテリ	アCAD科	1年	15	15	15	19	17	21	14	12	15	14	11	85. 7%	72. 7%
能	総合実務		1年	15	15	15	25	23	25	14	15	15	14	15	100.0%	100.0%
力 開	t*シ*ネス	4月開講	6か月	5	5	5	6	5	7	5	5	5	5	4	60.0%	100.0%
発	実務科	10月開講	6か月	5	5	5	6	4	6	5	4	5	5	3	100.0%	100.0%
校		計		80	80	75	113	108	99	77	74	71	72	63	83.3%	84. 1%
	障害者校計 125 125 126			120	155	157	150	105	107	106	93	92	84.9%	80. 4%		

※キャリア実務科の新設(R2.10月~)

発達障害者の就職意欲・訓練ニーズの高まりを受け、本県初の「発達障害者」に 特化した「キャリア実務科」を新設。

コミュニケーション能力や集中力の改善、多動性や衝動性の抑制等、自己の特性 に向き合いながら就職に向けたスキル向上を図る。R3 から1年コースとして実施。



インテリアリフォームコース(神戸高等技術専門学院)



総合実務科(障害者高等技術専門学院)

② 企業と連携した訓練

ア 公共職業訓練インターンシップ事業の実施

公共職業能力開発施設内の訓練カリキュラムに、1週間から1か月程度のインターンシップを導入し、熟練技能者の指導による実際の現場で、実践力の向上を図る。

【実施状況】※令和2年度は12月末現在の年間予定数

(単位:人・社)

+/=n. /a	兴利力	Н30	年度	R1 4		R2 4	年度
施設名	学科名	実人数	受入企業数	実人数	受入企業数	実人数	受入企業数
まのごとり七学坛	木造建築コース	18	17	10	10	12	12
ものづくり大学校	機械加工コース	1	1	0	0	0	0
但馬技術大学校	建築工学科	20	17	15	14	13	10
但两汉州八子仪	機械工学科	10	5	9	7	13	8
神戸高等技術専門 学院	福祉調理コース	29	16	36	16	0	0
萨孛老吉然壯佬	ビジネス実務科	1	1	2	2	0	0
障害者高等技術 専門学院	情報サービス科	1	3	3	4	0	0
41146	総合実務科	6	10	7	12	13	7
	OA事務科	2	2	10	7	3	1
	グラフィックアート科	2	2	3	3	_	_
兵庫障害者	キャリア実務科		_	_		1	1
職業能力開発校	インテリアCAD科	4	3	5	5	4	4
	総合実務科	14	20	15	22	21	15
	どジね実務科	9	5	7	9	3	3
合 計		117	102	122	111	83	61

※グラフィックアート科はR1終了、キャリア実務科はR2新設



建築工学科(但馬技術大学校)



福祉調理コース(神戸高等技術専門学院)

イ 熟練技能者等の外部講師導入

より実践的な教育訓練を行うため、「ひょうごの匠」や「技能検定1級有資格者」など長年に渡る現場経験を持ち、高度な熟練技能を有する職人や企業の技術者を外部講師として積極的に活用する。

ウ 民間企業との連携による先端高度加工機械を活用した人材育成事業

工作機械メーカーであるDMG森精機㈱と、 ものづくり人材の育成にかかる連携協定を令和 2年4月10日に締結。

協定に基づき、同社から最新工作機械がものづくり大学校に無償貸与されることが決定。

今後、同機械を活用した職業訓練や地域企業への高度加工技能の普及を進める。



【無償貸与されるターニングセンタ】 コンピューク制御により、極めて精緻な 金属部品の加工が可能

(2) 民間機関を活用した公共職業能力開発

多様な訓練ニーズに迅速かつ効果的に対応するため、専修学校等の民間機関を活用し、求職者の特性に応じたコースを実施する。

① 離職者訓練

【令和2年度予算 1,822,597千円】

人手不足が著しい介護・福祉分野、求職者ニーズの高いIT、事務・経理分野等を中心に多様な委託訓練を実施する。

【分野別実施状況】

※令和2年12月末現在、緊急雇用対策訓練追加分を含む

(単位:人)

分野	区分	コース数	募集定員	応募者	入校者	修了者	就職率
	H30	47	766	549	506	429	79.5%
介護・福祉	R1	49	586	426	352	352	89.0%
	R2	49	473	393	308	160	45. 7%
	H30	81	1, 359	1,854	1, 218	1, 111	75.8%
ΙT	R1	84	1, 314	1,862	1, 114	1, 102	72.3%
	R2	90	1, 279	1,817	991	537	36.0%
	H30	47	777	895	691	637	81.5%
事務・経理	R1	48	856	821	608	563	71.0%
	R2	49	694	624	454	289	42.5%
	H30	16	188	184	173	151	70.9%
その他	R1	22	280	345	210	187	40.8%
	R2	25	278	293	215	126	42.4%
	H30	191	3,090	3, 482	2, 588	2, 328	77.7%
計	R1	203	3, 036	3, 454	2, 284	2, 204	71.8%
	R2	213	2, 724	3, 127	1, 968	1, 112	39.8%

※就職率は訓練修了後3か月後に確定

(参考) R1 年度の 12 月末現在就職率: 49.8%

② 離職者訓練〔障害者対象〕

【令和2年度予算 74,455 千円】

社会福祉法人、NPO法人、特例子会社等の民間教育訓練機関を活用し、障害者の特性に応じた多様な委託訓練を実施する。

【科 目】 事務・IT等

【コース種別】

ア 知識・技能習得訓練コース

民間教育訓練機関等を委託先とし、就職に必要な知識や技能の習得を目的とした訓練を実施する。

イ 実践能力習得訓練コース

企業、特例子会社等を委託先とし、事業所の現場を活用(事業主等が実際に実施している業務に関する作業実習を中心に)した実践的な職業能力の開発・向上を目的とした訓練を実施する。

ウ e ーラーニングコース

通所が困難な重度障害者等を対象として、在宅でインターネット環境を活用したIT技能等の習得訓練を実施する。

【分野別実施状況】※令和2年12月末現在

(単位:人)

分野	区分	コース数	募集定員	応募者	入校者	修了者	就職率				
소마하는 구는 사기되었다	H30	26	135	86	75	57	43.9%				
知識·技能習得 訓練	R1	26	137	120	94	89	42.7%				
可用水	R2	17	90	63	48	42	9.5%				
中 比处于羽伊	H30	3	18	26	18	18	94.4%				
実践能力習得 訓練	R1	6	23	30	21	19	84. 2%				
可冰	R2	1	15	16	12	0	0.0%				
	H30	1	5	1	1	1	0.0%				
eーラーニング	R1	5	17	11	7	5	20.0%				
	R2	4	14	18	6	4	0.0%				
	H30	30	158	113	94	76	55.3%				
計	R1	37	177	161	122	113	48.7%				
	R2	22	119	97	66	426	8.7%				

※就職率は訓練修了後3か月後に確定

(参考) R1 年度の 12 月末現在就職率: 15.6%



ITコース



実践能力習得訓練コース

2 在職者に対する能力開発

企業在職者を対象に、業務に必要な知識やより高度な技能の習得、資格取得などを支援するため、公共職業能力開発施設での短期講座の実施や、民間事業主団体等の行う能力開発を支援する。

(1) 公共職業能力開発施設内で行う企業在職者の技能向上

① 企業在職者に対する職業能力開発

【令和 2 年度予算 9,834 千円】

技能向上のための取り組みが単独では人的・設備的に困難な中小企業等のニーズを踏まえ、公共職業能力開発施設において、企業の在職者を対象に、各種資格取得やものづくり技能の習得のための職業訓練を実施する。

ア ものづくり技能基礎講座

ものづくり大学校において、主にものづくり企業における入社 $1\sim2$ 年目までの新入社員を対象とした基礎技能の習得講座を実施する。

※令和2年度は12月末現在の年間予定数、修了者は12月末現在

(単位:人)

コース	内 容	期間	H30 年度		R1 年度		R2 ⁴	F度
	P1 谷	(日)	定員	修了者	定員	修了者	定員	修了者
溶接入門	溶接の基礎知識・機器取扱等を習得	2 ~ 4	10	8	10	3	0	0
旋盤入門	NC 旋盤の基本プログラミングと加工技術等を習得	4~6	30	26	50	39	35	15
CAD/CAM	2次元・3次元 CAD/CAM 操作の知識・技術等を習得	2~6	70	49	70	43	60	27
その他	機械製図と電気の基礎講座 他	2~4	45	31	55	36	45	30
	計		155	114	185	121	140	72

イ ものづくり技能応用講座

ものづくり大学校、神戸高等技術専門学院において、中小企業等の中堅・若手技能者を対象とした熟練技能の継承を目指した講座を実施する。

※令和2年度12月末現在の年間予定数、修了者は12月末現在

コース	内容	期間	H30 年度		R1 年度		R2 ⁴	F 度
ユース	Py 谷	(日)	定員	修了者	定員	修了者	定員	修了者
TIG 溶接	溶接技能者評価試験に合格できる知識・技 能を習得	2~3	10	12	5	2	10	8
汎用旋盤	旋盤・フライス盤技能検定2級課題の製作技 能を習得	18~20	10	5	10	2	0	0
CAD/CAM	2次元・3次元 CAD 操作の実践的な技術 を習得	3~7	20	8	20	11	10	5
AI · IoT	ビッグデータ、IoT 等の最先端技術を習得	2	0	0	20	13	20	_
その他	シーケンス制御・プログラミングコース、建築コース等	2~5	73	44	68	39	51	19
	計		113	69	123	67	83	32

ウ 資格試験対策講座、技能向上講座

ものづくり大学校、但馬技術大学校及び神戸高等技術専門学院において、中小企業等のニーズの高い、資格がなければ業務に従事できない分野について、作業従事者や作業主任者に対する訓練を実施する。

※令和2年度は12月末現在の年間予定数、修了者は12月末現在

		.4 /1/NO				PO 左左		
コース	内 容	期間	H30 :	年度	R1 ⁴	手度	R2 年	三度
	P1 谷	(日)	定員	修了者	定員	修了者	定員	修了者
アーク 溶接	アーク溶接作業に従事するために必要な知識・技能を習得	2~3	380	191	380	160	280	86
クレーン	5 t未満クレーンを操作するために 必要な知識・技能を習得	2	250	294	250	282	150	165
ガス溶接	ガス溶接作業に従事するために 必要な知識・技能を習得	2	370	185	370	190	350	135
玉掛け	玉掛け作業に従事するために必 要な知識・技能を習得	3	150	123	150	119	200	94
フォークリフト	フォークリフト作業に従事するため に必要な知識・技能を習得	4	150	133	150	123	200	84
建築	建築作業主任者として従事する ために必要な知識・技能を習得	2	60	57	90	32	70	27
	小 計		1, 360	983	1, 390	906	1, 250	591
技能検定	技能検定準備講座	2~3	55	22	55	26	0	0
その他	その他技能向上訓練	2~6	48	19	33	27	30	7
	小 計		103	41	88	53	30	7
	計		1, 463	1,024	1, 478	959	1, 280	598







旋盤入門コース

CAD/CAMコース

アーク溶接コース

(2) 民間事業主団体等の行う職業能力開発に対する支援

民間事業主団体等が労働者に対して行う職業能力開発を支援する。

① 認定職業訓練に対する支援

【令和2年度予算 21,470千円】

ア職業訓練の認定

民間事業主団体等の行う職業訓練の内容の充実を図り、計画的かつ体系的な実施と普及を促進するため、厚生労働省令の基準に適合する職業訓練コースを認定する。

※令和2年12月末現在

区 分	H30年度	R1年度	R2年度
事業所·団体数	41	38	37
コース数	153	158	135

イ 認定職業訓練に対する補助金の交付

職業訓練法人や中小企業事業主等が実施する認定職業訓練に対して運営費を補助する。

【主な補助対象先】※令和2年度は12月末現在の年間予定数

人。 一种是一个一个人。 一种是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一							
団体名	科目	H304	年度	R1 ^左	F度	R2 ^左	F度
		コース	人	コース	人	コース	人
近畿建設技能研修協会	土木科等	23	594	20	576	22	534
北はりま職業訓練協会	織布科、介護科等	34	344	33	344	29	180
丹波職業訓練協会	経理事務科等	6	18	5	14	3	10
その他	和裁科等	31	264	32	312	17	147
	事業所·団体数		16		17		13
計	コース数		94		90		71
	訓練人数		1, 220		1, 246		871

② 職業訓練指導員の養成・確保

職業能力開発促進法に基づき、指導員講習を修了した者や職業訓練指導員試験に合格した者等に対して職業訓練指導員の免許証を交付することにより、企業での事業内訓練指導員等の養成・確保を図る。

【交付実績】※令和2年12月末現在 (単位:件)

区 分	H30年度	R1年度	R2年度
免許交付数	100	121	22

※令和2年度の指導員講習・試験はR3.1~2月に実施予定

3 技能の振興と職業観の醸成

熟練技能の維持継承が課題とされる中、技能者に対する評価の確立や技能継承の促進、 若年労働者に対する職業能力開発を進めるなど、技能尊重気運の醸成を図る。

また、次代を担う青少年のものづくりへの関心や職業意識を醸成するため、ものづくり体験事業に取り組む。

(1) 技能の向上

① 技能検定の普及促進

【令和2年度予算 44,445千円】

技能に対する社会の評価を高め、技能労働者の技能と地位の向上を図るため、兵庫 県職業能力開発協会との連携の下、技能検定を実施し合格者に「技能士」の称号を与 える。 コロナの影響により技能検定(前期)中止

【技能検定の実施状況】

			H30年度			R1年度			R2年度	
	3 分	受 検	合格者	合格率	受 検	合格者	合格率	受 検	合格者	合格率
	± //	申請者			申請者			申請者		
		人	人	%	人	人	%	人	人	%
特	級	321	97	30. 2	300	30	10.0	_	_	_
1 \dot{i}	級	2, 270	1,082	47.7	2, 214	1, 160	52.4	26	26	100.0
2 3	級	2,658	1, 399	52.6	2, 713	1,400	51.6	10	10	100.0
3 7	級	1, 266	819	64. 7	1, 277	862	67. 5			_
単一等	等級	114	47	41.2	43	29	67.4	_		_
小	計	6, 629	3, 444	52.0	6, 547	3, 481	53. 2	36	36	100.0
++ 4 -	2 級	_	_	_	67	3	4. 5	276	4	1. 4
技能 実習生	うち実技	_	_	_	67	50	74. 6	274	200	73. 0
対象	3 級	1,590	470	29.6	2, 101	584	27.8	1, 739	480	27.6
(随時	うち実技	1, 538	1, 449	94. 2	2, 048	1, 975	96. 4	1, 702	1,645	96. 7
実施)	基礎級	2, 645	2, 554	96. 6	3, 497	3, 365	96. 2	2, 347	2, 265	96. 5
小	計	4, 235	3, 024	71. 4	5, 665	3, 952	69.8	4, 362	2, 749	63. 0
合	計	10, 864	6, 468	59. 5	12, 212	7, 433	60.9	4, 398	2, 785	63. 3

[※]R2年度1級・2級は試験免除者のみ、技能実習生対象は12月末までの実績

【参考】 若者の技能検定受検の促進

「ものづくり分野」を支える人材の確保・育成を図るため、実技試験受検料の一部 を減免し、若者が受検しやすい環境を整備する。(H29年度後期試験~)

【2級及び3級実技試験受検料】

(単位:円)

区分		35 J		35 歳未満	
		一般	在校生(※)	一般	在校生(※)
	機械加工,建築大工等(105 職種)	18, 200	12, 100	9, 200	3, 100
実技	機械検査,婦人子供服(2職種)	15, 100	10, 100	6, 100	2, 900
	和裁, 電気製図等 (4職種)	13, 300	8, 900	4, 300	2, 900

[※]高校、大学、職業訓練校等の在校生で3級を受検するもの

② 技能者の顕彰

【令和2年度予算 1.125千円】

広く社会一般に技能尊重の気運を高め、技能労働者の地位及び技能水準の向上を図るため、優れた技能者を表彰する。

【知事表彰】 (単位:人)

区分	兵庫県	! 技能顕功賞	兵庫県青年優秀技能者表彰		
概要		た技能を有し、兵庫 発展に功績のあっ 長彰	優れた技能をもって顕著な功 績を収め、将来を嘱望される青 年技能者を表彰		
対象者	35 歳以上の 実務経験 15		35 歳未満の技能者 実務経験 7 年以上		
	H30 年度	164	H30 年度	36	
表彰者数	R1 年度	163	R1 年度	38	
	R2 年度	126	R2 年度	36	

【参考:厚生労働大臣表彰(卓越した技能者の表彰)】

技能の程度が全国を通じて第一人者と目され、労働者の福祉の増進及び産業の発展 に功績のあった技能者を被表彰候補者として県が推薦し、厚生労働大臣がいわゆる 「現代の名工」として全国で約150人を表彰。

(単位:人)

区分	H30年度	R1年度	R2年度
本県推薦の被表彰者数	10	6	6

③ 「ひょうごの匠」の認定

技能に対する県民の関心を高め、技能の伝承及び技能後継者の育成を図るため、県内の優れた技能者の中で、技能の伝承及び技能後継者の育成に熱意を持つ者を「ひょうごの匠」として知事が認定する。

【**登録者数**】 408 人(令和 2 年 4 月 20 日現在 ※令和 2 年度新規 15 人)

【職種】 26職種

貴金属装身具製作、石工、印章彫刻、建築大工、広告美術仕上げ、写真、寝具、建具、表具、菓子製造、婦人子供服製造、和裁、紳士服製造、内装仕上げ施工、塗装、日本調理、左官、畳製作、ガラス施工、造園、金属塗装、建築板金、フラワー装飾、時計組立・修理、西洋調理、瓦葺き

④ ものづくり技能競技大会への支援

ア 技能競技大会への支援

技能者の技能・知識及び社会的地位の向上に資するため、各種技能競技大会に参加する選手を支援する。

【支援内容】

- ・激励会の開催、県ユニフォームの贈呈
- ・大会と県出場選手の広報PR
- 技能士団体への選手育成強化費支援 (材料費、講師謝金、会場費の1/2相当)
- ・成績優秀者の顕彰



2020技能五輪金賞(和裁) 兵庫県選手

(単位:人)

対象者	大会名	H30年度	R1年度	R2年度
青年 技能者	技能五輪全国大会 (42職種約1,200人)	沖縄県 参加者:31 入賞者:14	愛知県 参加者:27 入賞者:10	愛知県 参加者:21 入賞者:6 (%1)
	技能五輪国際大会 (56職種約1,300人)	開催なし (隔年開催)	ロシア 参加者:1 入賞者:0	開催なし (隔年開催)
障害者	全国障害者技能競技 大会 (アビリンピック) (23職種約380人)	沖縄県 参加者:7 入賞者:1	愛知県 参加者:8 入賞者:2	愛知県 参加者:6 入賞者:2(※2)
熟練技能者	技能グランプリ (1級技能士全国技 能競技大会) (30職種約530人)	兵庫県 参加者:53 入賞者:22(※3)	開催なし (隔年開催)	愛知県 R3.2 実施予定 参加予定者:27

※1 入賞者:金賞1人、銅賞2人、敢闘賞3人。金賞受賞は9年連続

※2 入賞者:銅賞1人、努力賞1人

※3 入賞者:金賞3人、銀賞4人、銅賞5人、敢闘賞10人・組

イ 「ものづくり兵庫技能競技大会」の開催

県内の幅広い業態や規模の異なる企業現場の技能者をはじめ、教育訓練機関や職業能力開発施設で学ぶ人々が切磋琢磨し、互いの技能を確かめ合い交流する機会として兵庫県職業能力開発協会と共催で競技大会を実施する。

【令和2年度実績】

開催日:令和2年11月20日場 所:ものづくり大学校

競技職種: 旋盤、溶接、金属塗装、建築大工

参加人数:54人

(2) ものづくり体験を通じた技能尊重気運促進と就労の意識醸成・機会拡大の推進

① ものづくり体験館体験事業

【令和2年度予算 60,211千円】

ものづくり大学校「ものづくり体験館」において、中学生等のものづくりに対する 関心を高めるとともに、職業としての魅力と奥深さを伝えるため、本格的な体験の機 会と場を提供する。

ア ものづくり体験学習(中学1、2年生が学年単位で団体利用:平日5時間程度)

- (ア) ひょうごの匠等の熟練技能者による本物の技の実演と体験指導
- (4) ものづくりのプロセスとそこに生かされた技を体感する展示学習

【ものづくり体験例】

はんこ、時計、表札、文鎮、テープカッター、棚、ラジオ、音声認識ロボットカー、 革のパスケース、フランス料理、建築模型、瓦葺き、ズボンの裾上げなど

※令和2年度は12月末現在の年間予定数

年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
参加校数(校)	113	96	94
参加人員(人)	12, 720	11, 043	11, 504



革のパスケース作り



表札作り

イ ものづくり体験講座(個人単位又はグループ単位で利用)

コロナの影響により夏休み期間の講座を縮小

(ア) レベルアップ体験講座 (小 中 学 生:夏・冬休み等)

(小 中 学 生:夏・冬休み等) (イ) テーマ別体験講座 (小学生・親子連れ:夏・冬休み等) (ウ) 親子工作教室

(エ) ものづくりワークショップ (一般:平日等)

※令和2年度は12月末現在の年間予定数

年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
講座数	127	130	34
参加人員(人)	1, 853	2,050	276

② 技能フェスタ

【令和2年度予算 3,000千円】

技能尊重気運の醸成を図るため、親子を対象とした多彩なものづくり体験イベント「技能フェスタ」を神戸市、兵庫県技能士会連合会、神戸市技能職団体連合会と共催で実施する。

【令和2年度概要】

開催時期:令和2年10月31日(土)~11月1日(日)

場 所:神戸国際展示場3号館

内 容:技能体験(全29ブース)、製作実演、作品展示、即売等 参加団体:表具、石工、左官、畳、印章彫刻、日本調理等38団体・施設

入場者数:3,337人



かわら葺き体験



丸太切り体験

③ しごとツーリズム促進事業

【令和2年度予算 22.250千円】

小中学生がしごとに対する理解を深め、職業意識を養うため、ものづくり体験や、 しごとに関する学習を行う際に、バス借り上げ経費一台当たり50,000円を助成する。

ア ものづくり体験館における「ものづくり体験学習」への参加

中学生が、学校単位で熟練技能者による本格的なものづくり体験を行う「ものづくり体験学習」に参加する場合に助成する。

イ 県内の体験施設、ふるさと企業・工場における「仕事体験学習」への参加

子ども会、自治会等の小単位や学校単位で、小中学生が県内の体験施設やものづくり企業等を訪問し、ものづくりやしごとへの理解・関心を高める学習を実施する場合に助成する。

【主な対象施設】

コープこうべ食品工場、アサヒ飲料明石工場、キッコーマン食品工場、キッザニア 甲子園、エコテクノロジーセンター、そうめんの里、立杭陶の郷、吹き戻しの里 など

【実績】※令和2年度は12月末現在の年間予定数

年度	実施団体数	助成台数(台)	参加者数(人)
H30 年度	142	334	13, 864
R1 年度	119	278	11, 201
R2 年度	89	323	11, 156

④ 家事支援外国人受入事業

入管法の特例を活用して家事支援を行う外国人を雇用し、サービスを提供することにより、家事負担を軽減し多様な人材の活躍を推進する。

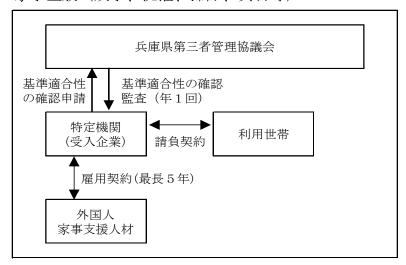
ア 事業実施区域

兵庫県全域

イ サービス内容

家事全般(炊事、洗濯、掃除、買物等)

ウ 事業スキーム



工 活動状況

平成30年3月2社に基準適合通知書を交付(㈱ニチイ学館、㈱ベアーズ) 平成30年11月2社によるサービス提供開始

【従事者数】※令和2年11月末現在

区 分	H30 年度	R1 年度	R2 年度
家事支援従事者数 (人)	97	116	105

【家事支援活動状況】※令和2年11月末現在

区 分	H30 年度	R1 年度	R2 年度
延べ利用世帯数(世帯)	188	1, 339	1, 229
延べ利用回数(回)	313	2, 882	3, 064